

大森新聞

大森の町並み見学



十一月十六日(木)、長久小学校多田房明先生に案内をお願いし、浜田四中全校生徒で大森の町並みを見学しました。

はじめにオペラハウス大森座の見学をし、その後熊谷家住宅に行きました。事前に熊谷家住宅は、何世紀もの間大森で影響力のある家柄で、当初は鉱山業で財を成したが後には地域の奉行人の財政や仕事など幅広く事業を拡大したことを調べました。

熊谷家に入ると銀の重さをはかってお金の

価値を決めるところがありました。実際に座つてみて、今のお金と昔のお金は全然違うんだなと感じました。蔵には地図記号の銀行のマークがあり、銀行の役割をしていたことがわかりました。また縁側では雨戸が角を曲がって閉まることにびっくりしました。

町並みを歩きながら、多田先生から町人と武士の家の作りが違うことを教えてもらいました。例えば武士の人を上から見下ろしてはいけないから町人の家は平屋であり、武士や豪商の家は訪ねてくる人によって入り口が三つ用意されていたそうです。町を見下ろせるお寺から町並みを見ながら赤瓦が多いのも大森の特徴と聞きました。事前学習で大森の町は多くの屋根で使われている赤瓦や、梅の木が有名だと調べていたので、説明を聞いて納得しました。梅干しは、のどにいいので、ほこりっぽい坑道に入る時、マスクの中に入れていた事もとても調べました。このことは、別の講師の先生から説明があり、事前学習とつながりました。

次に有馬光栄堂の前を通りました。大森の町並みにある唯一のお菓子屋さんで、二百年以上続く老舗で、かつて銀山の抗夫たちも食べていたと言われる「げたのは」が有名だと事前学習で調べました。実際に「げたのは」を食べてみてまた食べたくなる味でした。

町並み見学を終えて、私は、熊谷家などの歴史的建造物や、銀山ライブラリーなど古い見たい目でも、中がおしゃれな施設などがあり、事前学習で見た写真とはまた違う迫力があり、勉強になりました。

石見銀山と灰吹き法

事前学習で調べたこと

銀と鉛の合金を加熱して鉛を灰にくっつけて銀だけ取り出す方法。石見銀山で導入された。

大森の町並み見学に続いて、午後から大久保間歩を見学しました。間歩を出たところで、案内していただいた石見銀山ガイドの会の足立聖さんから銀の作り方について質問されました。私が当てられ、事前学習で調べたことを発表しました。「よく知ってるな」と言っていたいただき嬉しかったです。実際に銀を見せていただき、調べたことがよくわかりました。

